



サイジヤナル

月刊
23-5・6
第397号

日本サイ科学会 平成23年5月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒503-0981 大垣市松町1290 山 田 哲 三 ☎・FAX 0584 (91) 1192	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究所内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒659-0011 芦屋市六麓荘町 (事務局) 9-39 木 村 のり子 ☎・FAX 0797 (22) 6425	九 州 〒862-0976 熊本市九品寺 1-9-7 金 子 輝 夫
---------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------

がんばろう日本!

このたびの東日本大震災により、被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興と皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

日本サイ科学会

事務局からのお知らせ

六月通常総会出欠葉書のご返送のお願い

※来る六月通常総会のための、賛助会員、維持会員、正会員に対する「出欠用」と欠席者のための「委任状」を兼ねたハガキが今回同封されており、必ず六月5日までに「ご投函願います。(忘れないうちにお早めにお願致します。)

◎5月以降の本部例会、宇宙生命研究分科会は、今後何もアクシデントが起これなければもちろん開催の予定ですが、もし大きな地震や原発事故等で交通やその他問題が起こった場合は、中止のお知らせを公式サイトに掲載、本部の留守電メッセージに入れます。したがってお手数をお掛け致しますが、アクシデントが起こった場合は、例会参加前に必ずサイトあるいは電話でチェックしてください。

五月本部例会のお知らせ

「最新脳科学と透視能力」

講師 赤松 瞳氏
(脳・認知学者)

■内容・TBS最新脳科学&最強超能力ヴィデオ鑑賞 ロシアのクラス風景ヴィデオ観賞

■能力デモンストレーション(透視/リモートビューイング)

例・アイマスクをつけたまま本を読む、体内霊視など

今月号の記事

- ◎事務局からのお知らせ
- ◎五月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎六月本部例会のお知らせ
- ◎創立35周年記念大会の論文募集
- ◎中部サイ科学会五月例会予告
- ◎関西サイ科学会五月例会予告
- ◎関西サイ科学会六月例会予告
- ◎北陸サイ科学会六月例会予告
- ◎七月本部例会予告
- ◎第13回宇宙生命研究分科会予告
- ◎十一月本部例会報告
- ◎第三五四回関西サイ科学会報告
- ◎関英男先生関連書籍の販売
- ◎念力とカオス・アトラクタ

人間の脳はわずかに3〜5%しか使用されていないことは広く知られています。ロシアやウクライナの脳科学研究では、未使用の脳を使用する方法の研究が進んでおり、子供から大人まで超感覚的知覚(いわゆる、超能力)を発達させる驚くべき方法論が実用化されています。生まれながらにして目の見えない子供たちに、脳の視覚視野や中脳の能力開発トレーニング

により、ある種リーダーのような代替視覚手段をもたらすことにより、全盲の人々が、目以外の感覚を使用して読み書きができるようになっていきます。

その副産物として、いわゆる千里眼(リモートビュースキミング能力)が身につく、肉眼以上の感覚器官で遠くのものや近くのを認知することが可能になります。セミナーで紹介するビデオでは様々のレベルの障害者が超感覚的な能力を身につけて回復している様子を紹介します。また、普通の人々にも同様の脳トレーニングにより、超能力が身についています。

ロシアやウクライナの大学の研究によると、それらの能力を身に付けた人々は脳の使用パーセントが多い(つまり、未使用の脳が使用されている)ことが実証されています。セミナーでは、脳の進化、それによる人類の進化においてのディスプレイシオン、及び実際体験(例:実際に目を閉じたままイメージワークをする、感覚的にものを見る・知ることの体験など)の機会が得られます。

※本部例会において、女性の熟達

したESP能力者であり、研究者の実演と講演が聞ける貴重な機会ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●赤松瞳氏プロフィール

1977年、北海道札幌出身

○脳・認知学者「オーストラリア・モナーシユ大学心理学博士」

○ロシア科学アカデミー「IAHD」日本代表

○国際前世療法学会「IARRT」プロフェッショナルメンバー

○プロニコフ・イースタンスクール主任講師

1990年日本大学国際関係学部を経て、心理学研究の為オーストラリアに渡る。長年にわたり、豪州、アメリカ、欧州、インドなどで心理学、潜在意識精神世界の講演、講習をしながら主に豪州大学院に於いて個別指導講師を務めてきた。

統合医療的なアプローチで様々な心理療法、代替医療を行い、現在は能力開発トレーニングや障害者教育に従事している。

○アメリカABS「21世紀に貢献した偉大な女性」ノミネート賞

○オーストラリア政府スカラシップ受賞

○脳・認知科学優等学士「クイーンズランド大学」

○応用心理学学士「サウスクイーンズランド大学」

○医療準学士「タスマニアTAFE」

○現所属 株式会社CI総合研究所

日時 平成23年5月14日(土)

午後1時半〜5時

会場 北とびあ7階701会議室

交通 J R京浜東北線王子駅下車 徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円 一般 三〇〇〇円 学生 一〇〇〇円

◆ ◆

「心を科学する博物館」と

一般の御寄付御礼

(4/8受領分まで)

金三万円也	渡辺 宙明 様
金二万円也	鴨川 裕司 様
金一万二千元	浪平 博人 様
金一万一千元	屋敷 益男 様
金一万一千元	原口 和恵 様
金五千元	宮前 昭子 様
金五千元	匿名 様
金三千元	土村 澄子 様
金三千元	飯塚 友子 様
金二千元	佐藤ひろ子 様
金二千元	赤松 洋一 様
金二千元	窪田啓次郎 様
金二千元	久保田昌治 様
金二千元	飛田 洋子 様
金二千元	飯見 勇 様
金二千元	青木 保夫 様
金二千元	奥村 八郎 様
金二千元	高木 和人 様
金二千元	須崎 康洋 様
金二千元	今田 恵子 様
金二千元	寺嶋 崇恵 様
金二千元	岩谷 好子 様
金二千元	田村 賢二 様
金一千元	匿名 様

金六万円也 木村 陽一 様
金三万円也 金子 輝夫 様



六月通常総会・本部例会予告

※午後一時半から30分の通常総会後、講演会があります。

未知エネルギーの研究と チャネリング

講師 井出 治氏
(クリーンエネルギー研究所)

著者は、1973年より既存のエネルギーの概念を破った新エネルギーの研究を続けてきました。その結果、昨年(2010年)1月、確信を持てる状態で作動する、超効率インバータの試作に成功しました。

その内容は、本年3月、米国メリーランド州立大学にて発表し、学会幹部メンバーより大いなる賞賛を受けました。著者の研究は、首尾一貫して理論と実験結果との関連を最重視した内容となっている点特徴です。すなわち、最初の米国物理学会の論文、NASAラングレー研究所の論文、およびメリーランド州立大学の論文は、すべて一本の線「未知の第3起電

力」の概念で結ばれています。

また、三番目の論文、「超効率インバータ」の研究は、仕上げの段階において「チャネリング」が果たした役割は大きいものがありました。これには、異星人、地底人、未知の宇宙の意識体、歴史上の偉人の精霊らとの交信によって、得られた貴重な情報が参考になっています。彼らが伝えたものは、他人のコンタクトストーリーや地球人の作った常識とは、かなりかけ離れた情報があり、極めて興味深いものです。

※東日本大震災直後、原発の爆発事故により現在も全面解決の方向が見えない状況ですが、井出氏の装置が早く実用化されれば、原子炉もいらなくなる画期的なもので、是非多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

●井出治氏のプロフィール

1949年 愛媛県生まれ
1971年 立命館大学理工学部電気工学科卒
1973年より、未知エネルギーの研究開始、現在に至る。
1995年6月 米国物理学会の

「応用物理学ジャーナル」に「未知の起電力」の最初の論文を掲載。

1999年12月 NASAラングレー研究所主催の学会において、「未知の起電力」をさらに深く追求した論文を発表。

2011年3月 米国防総省、エネルギー省、NASA主催の国際会議において「超効率インバータ」の理論と実験について発表。
著書 「パンドーラの遺産」。
共著、雑誌記事多数。
山羊座、B型。

※今回は第二日曜日です。

日時 平成23年6月12日(日)

午後1時半～2時 通常総会

午後2時～5時 講演

会場 北とびあ9階902会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

◎日本サイ科学会創立35周年
記念大会の論文・原稿募集

シンポジウムテーマ 「パワースポット」

1976年に日本サイ科学会(前身 日本PS学会)が創立されてから、今年が35周年にあたります。これまで5周年ごとに記念大会を開催しており、本年10月9日(日)北とびあにおいて、「日本サイ科学会創立35周年記念大会」が開催されます。

詳細なプログラムや発表者は今後の「サイジャーナル」でお知らせしていきますが、今行われるシンポジウムのテーマは近年メディアや書籍で大いに話題になっております「パワースポット」に決定致しました。

日本サイ科学会は1995年に分科会のサイ実測研究会が、中国元極学の張志詳会長を日本に招いて東京や長野県で講演会を催したときに、長野県の長谷村(現在伊那市に合併)にある分杭峠が元極学の基地に匹敵するパワースポットであるという「お墨付き」をいた

だいたことがきっかけで、現在日本でも有数のパワースポットとして分杭峠に多くの人々が訪れております。

そのことも含めまして、パワースポットの現状や科学的な立場で検討するシンポジウムをプログラムのメインテーマに致しました。

そこで会員の皆様からもパワースポットに関する貴重な体験やレポート、科学的な立場からの検証・論文等を募集することになりました。それは当日配布される予稿集や今年度発行の論文集「サイ科学」にも掲載されます。

9月15日までにA4判(40字×40行)6枚以内で一太郎かワードのデジタルファイルを左記事務局まで添付ファイル送信願います。内容がふさわしいか否かの審査がありますので、ご了承ください。

●原稿送信先
office21@psij.mail-box.ne.jp



中部日本サイ科学会 五月研究集会のお知らせ

会員二名の研究・体験発表

日時 平成23年5月14日(土)

午後1時半～5時

会場 つるまい会館2F

名古屋市千種区吹上1・1・3

052・744・3884

交通 JR中央線鶴舞駅、または

地下鉄鶴舞駅下車、名大病

院北イオン千種店前

会費 無料

※会員以外の方の参加も大歓迎

関西日本サイ科学会 五月例会のお知らせ

「東日本大震災と今後の世界に
ついて占星学的解釈と予測」

講師 瀬尾 泰範氏
(日本サイ科学会理事)

日時 平成23年5月21日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

七〇一号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

関西日本サイ科学会 六月例会のお知らせ

「科学と靈性の融合する時代」

講師 サアラ氏

日時 平成23年6月18日(土)

午後1時半～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 靱公園内

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

問合せ0797・22・6425

関西日本サイ科学会事務局まで

北陸日本サイ科学会 6月定例会

第1部 基調講演

「2012年問題とサイ」

講師 阿久津 淳氏

政治・経済等、現代社会になにかと行き詰まりが感じられる今日において、我々はどうしたらよいのであろうか? 科学もまた行き詰っているように思われる。

2012年問題の本質とは何であらうか? いかにして現代の諸問題を解決して、明るい未来を築くことができるだろうか?

「2012年問題とは何か?」「2012年問題とサイ」をテーマに2012年問題の核心に迫りたい。

第2部 UFOトークバトル

ナビゲーション

「UFOの最新情報」

竹本良氏

TVでしか見られない二人のトークが目の前で激突! ガチンコトークバトル

「UFO問題と人類の未来」

飛鳥竜一氏×竹本良氏

UFO問題の過去と現在と未来に迫る！

日時 6月26日(日)

午後1時半～5時

会場 金沢市文化ホール3階

「大会議室」

(石川県金沢市高岡町15・1)

講師 阿久津淳氏(日本サイ科学

会理事・科学問題研究者)

竹本良氏(科学問題研究者)

飛鳥竜一氏(フリーランス・

科学ジャーナリスト)

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

お問合せ 北陸日本サイ科学会

TEL 076・234・6634

(ホリスティック健康科学研究所)

七月本部例会予告

なぜあなたに大きな奇蹟が起こらないのか？
東日本大震災にも関連して

講師 古村 豊治氏

いまは、まさに激動の時代。政治や経済は不透明。また天変地異や大災害、事件や難病奇病も続出していきます。それら難問に対し具体的な対処策を持つ政治家、指導者、宗教家、科学者、医学者は極めて少ないのです。

そんな指導者たちをあてにせず、自分自身で自分や家族、会社を護らなければなりません。そのために、個々人が自分の本来の力に目覚めなければならぬときが来ました。それには「奇蹟力」とでもいう「力」が必要なのです。

「奇蹟力」は、ただ待っている起こりません。奇蹟を起こすためには、人間と宇宙の構造を「直感力」を使い、理解しなければなりません。また「意識力」で能動的に対処しなければならぬのです。

3月11日に東日本大震災が起り、原発事故も加わって日本は有史以来の危機的状況にあります。それらへの最新の対処法を、実技を交えて講演します。

前回も大盛況だった古村先生の本部例会でのしばらくぶりの御講演ですので、会員の皆様はご友人・知人をお誘いして、是非ご参加ください。

●古村豊治氏のプロフィール

昭和30年早稲田大学商学部卒業。

各種会社社長を歴任。船井幸雄先生主宰の直感力研究会講師、高次元波動研究会主宰。時空超越波動法を創出し、今日に至る。高次元研究、フーチ、IF・テストの実践者として著名。全国でセミナー開催。相談屋本舗運営。

著書には、「究極の自己革新」(博文館新社刊)、「らくらく探査力」(「わくわく意識力」(中央アート出版刊)、「悟り力」(知玄社刊)、「成功の宇宙法則」(致知出版社刊)などがある。

※今回は第三月曜日(祝日)です。

日時 平成23年7月18日(月)

午後1時半～5時

会場 北とびあ9階901会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

第13回宇宙生命研究分科会

第5回 UFO・オーブシン
ポジウム

本年もまたUFO・オーブシンポジウムを開催します。優秀な講演者には参加者投票によってUFO・オーブ賞を、ユニークな研究者には世話人からマージナルサイエンス賞も・・・内容の詳細は決まり次第公表します。

UFO・オーブ研究に関心のある方は是非お集まりください。またUFO・オーブについてひとこと話したいというヒトもお気軽にいらしてください。

(世話人 阿久津 淳)

日時 平成23年7月31日(日)

午後1時30分～5時30分

会場 品川健康センター会議室

品川区北品川3・11・22

03・5782・8507

交通 京浜急行新馬場駅徒歩2分

JR京浜東北線大井町駅東

口から東急バス渋谷駅行で

「新馬場駅前」下車

会費 一般 五〇〇円

会員 一〇〇円（日本サイ
科学会・サトルエネルギー学会・
太陽の会・国際問題研究会会員）
※会員以外の方の参加も大歓迎

十一月本部例会報告

夢診断と未来予測

講師 秋山 眞人氏

私は日本サイ科学会に来ると古
巢に戻った感じがします。最近中
規模以上の書店に行きますと、一
時期ほどの大きさではないにして
も精神世界関係の書籍コーナーが
できていて、近年この分野に対し
てまた関心が高まっているのだと
思います。

私は14歳のときに、超能力少年
といわれた時期があって、それか
ら36年経ち、今月50歳になりまし
た。本当に精神世界はいくつかの
波を繰り返しながら、すごく大き
な変化をしてきたと思います。あ
の70年代、やはり引き金を引いた

のはユリ・ゲラー氏だと思います。

実はユリ・ゲラー氏は11月11日
に名古屋で三千人くらいを集めた
会場でイベントをやり、直後の昨
日とおととい、企業の社長さん達
を集めた福島のお会でユリ・ゲラー
氏の講演と実演があり、私も通訳
兼解説者として協力しました。

IT業界など最近頭角を現した
企業家なども精神世界分野に大変
関心をもっている方が多く、急激
に会社が大きくなる過程で、やは
り社外や社内の人々の気持ちを讀
み、見事にコミュニケーションの
バランスを取らないと、やはり次
の時代の企業を継続して存続でき
ないわけですね。出羽三山などで
修験道の修行をする起業家もいま
す。これは起業家だけではなく、
一つの分野を極めた人々も、精神
世界分野に興味をもつたりします。
ユリ・ゲラー氏も63歳になるの
ですが、スプーン曲げのパフォー
マンスでも相手にスプーンを持た
せておいて、自分はスプーンの柄
の上面を指先で軽くなでているだ
けで、スプーンは上方にキューっ
と曲がります。そういうやり方を
見て、私は彼も苦勞したんだらう
などと思いました。いろいろ疑われ

る経験をして、できるだけ誤解を
受けないようにその方法に行き着
いたのだと思います。

今日、日本サイ科学会という日
本でも老舗の研究会で私がお話を
するのだということをやりに告げ
たら、これから本当に日本的なマ
インドをもった方々が、精神世界
の分野を掘り下げるということに
大変意義があることだ直感的に感
じるので、是非皆様に本当に奮闘
努力してくださいというメッセー
ジを預かってきました。

私はロシアや中国や米国などい
ろいろな国の超能力者達と会って、
インタビュをしたりパフォーマ
ンスを見ております。米国では
CIAにリモートビューイングを
教えた今年70歳になるインゴ・ス
ワンがおりますが、彼は現在、未
来予測の方法論なども教えていま
す。一番弟子のジョー・マクモニ
グルは日本でも有名になりました。
超能力者達が言っている共通点は
「誰の中にもサイキックのセンスは
ある」ということです。

子供達は比較的、超能力を発
揮しやすいのですが、大人になっ
てこれらがすべて消えるわけでは
ありません。能力が絞られてきて、

好きなものにししか発揮できなくな
るといふことなのです。職業的に
チョイスしたものの、自分が好きで
やるうとするもの、相性の合うも
の、志のあるもの、そういったも
のにどんどん超能力の範囲が狭ま
れてきて、かつ非常に実用的にな
まぐ働くようになっていくのだな
と思えました。

そういう意味では超能力という
のは本当に得意な分野で、皆さん
それぞれが無意識にその分野に集
中されているのが自然なのかなと
思ったりもします。しかし、やは
りサイキックな能力は自己の顕在
意識のほうで、「あっ、これがサイ
キックなのだ」と認識をした瞬間
にさらに深くコントロールできま
すし、問題を無意識にゆだねたま
まだと間違つてサイキックな能力
を自分にとって都合な方向に繰
り返し働かせるというような現象
も起こりうるのです。これは本人
にとつては大変苦勞しがちなパタ
ーンでありまして、「逆PK」と申
しますか、想いと反対の方向に超
能力が働いてしまふ、超能力が自
分を自滅させる方向に働かせてし
まうことも起こるので。

これはまた大衆の無意識的な超

能力においても同じことだと思えます。古代東洋では、何か大衆の心の奥底につながっているもの、ユングは「集合的無意識」と名付けましたが、東洋では古くからそれを一つの象徴として「龍(ロン)」、すなわち巨大な龍であると例えしました。龍のシンボルというのは他にもいろいろの意味があるので、しかし沢山ある意味の中で、龍は大衆の集合的無意識の半ば暴走したときの形、躍動感をもってある意味躍り出たときの形を龍に例えたわけですね。

この龍は暴走してしまえば、個人なんかあつという間に押しつぶしかねません。非常に強い力もつています。その反面それを凌駕するように、例えば何か皆の危険を察知して無意識にそれを避けたりと、か、念力を変えていたりとか、そういう希望的側面や善なる側面を強く持っているのです、そのダークな部分がある程度押さえられていてというようなことは言えると思います。でもやっぱり今後そういうバランスが、情報の氾濫によって乱れたり狂ったりする可能性はあると感じています。

これは実はいろいろな能力者達

も同じ危惧を持っているわけですが、例えばインゴ・スワンは予知能力を研究していたのですが、透視能力よりも予知能力の開発の難しさを感じていました。ただ透視能力をもっている人は同時に予知能力をもっており、次第に強まる傾向があります。



ただ問題は予知の場合、そのときの世相、例えば今回の尖閣列島の問題で中国は悪い、日本は正しいというイメージが強くなるので、日本人の希望的観測として「日本は今後伸びる、中国は経済的に崩壊する」というような予言が多くなっています。

同様にエドガー・ケーシーの「日本は1998年までに、海の底に

沈む」という1930年代の予言がありますが、その時代中国に進出していた日本を衰えさせたいアメリカの白人の集合的無意識の願望が影響したと考えられます。

また1990年代でしたか経済予言がお得意な広瀬次郎氏が、米国大陸が海に沈み、日本が世界の盟主になるという予言書を出しておりますし、最近ときどき来日する「救世主がどこかに現れる」と予言する人物は、日本に来ると「日本に救世主が現れる」と言い、台湾に行くとき「台湾に救世主が現れる」と予言しております。

インゴ・スワンはそういうものを乗り越えないと本当の予知情報は取れないと言っております。大衆の希望的観測や、その世相・時代の希望とかある意味では偏り・偏見・こだわりをまず全部捨てる、本当に未来からやって来る情報が正確にマインドの中に入ってきます。それは難しい作業ではなく、そういうものはまず横に置くと、中出でくる自由連想の中に正しい未来の情報が入ってきます。

「それがどんなに意外なものであっても、きちんと記録につけな

さい。そしてそれを体系づけていきなさい。」とインゴ・スワンは言っております。

私も実はインゴ・スワンの未来予測の教本「ノストラダムス・フアクター」を翻訳して1995年に出しております。その頃から、私は未来予測をもっと実用的なレベルに引き上げる必要があると思っております。サイ能力のそれまでの研究成果では、リモートビューイングは一般の人でも短時間で能力者になることができる、ただそれを維持できるかどうかは別問題ですが、さらにそれを上回る研究としては、米国の国防総省および他の各機関が関わったといわれる「マインド・レース」という実験があります。これは透視能力と予知能力が実は並行して同時に働くという性質を逆手にとり、被験者に何を予測しているか教えないで、被験者の未来予測能力の無意識的なデータだけを載せてしまう方法です。これはうまくやると的中度は高いのです。

よく欲が入り込むと未来予測は難しいと言われますが、事実そうなんです。私もいろいろな能力者と共同して、一歩欲が入りやすい

競馬とか宝くじなど連続して二〇〇回くらい実験したことがありません。そのマインド・レースの方法、つまり被験者である能力者に何を予測しているか告げないで、当たり馬券や当たりくじを予測させると、非常によく当たるといふことが分かりました。

しかしながら、これは問題があります。つまり悪用される可能性があるのです。例えば私達もつて誘導されて、私達が知らない間にデータ化されて、取られてしまうということなんです。かつ、そういう未来予測のデータが、一部の問題のある人のマインドや価値観や方向性で使われたならば、これは大変危険なことになる可能性もあるわけです。ただ、そういうものを危険に使用とする人を排除する念力みたいなものも、どうも集合的無意識の中にはあるようです。

昔、ある国の軍部で「イルカ爆弾」の実験を試みたことがありますが。イルカは非常に頭が良いので調教しておいて、イルカの体に爆弾を付けて、「人間魚雷」のように敵方の潜水艦に突っ込むようにするわけです。イルカに潜水艦の

形式を覚えさせ、認識させて、自爆させるわけで、成功すれば大変優秀な兵器となります。ユリ・ゲラー氏もその実験にかり出されたのですが、その実験中イルカが本当の爆弾を背負わされると、すぐに体からはずそうとするのに対して、練習用の爆弾のときにはそのまま突っ込めるのです。これは「生き死に」に関わる非常に重要な情報に関しては、どんな生き物でも、ものすごく高いレベルで超能力が働くのです。すなわち個人レベルまたは人類全体レベルでも、「生き死に」に関する情報に関しては、ものすごく正確に普段の生活の中でも察知していることの現れと言えるかもしれません。

私はそれをもっと越える研究をしたいなと思っていました、実はこの10年間ひそかに未来を正確に読む方法はないかと模索しておりました。たまたま今から10年ほど前に、ある大手の企業から、携帯電話で何か皆さんの心の糧になるようなカウンセリングサービスができないか、というご依頼を受けました。いろいろの案の中から、毎日見ても一般の方が喜んでもらえるものとして、朝起きて自分の

夢を診断できる「夢診断」のサイトを10年前に創ったわけです。世界中の夢診断のデータを収集して、例えば「蛇の夢」であつたら、ポジティブな解釈とネガティブな解釈（警告的）の両方を載せるのが健全なサイトになると思いまして、運営しました。

これが当たりまして、この10年間で通算7400万件のアクセスがありました。会員数でいうと二万数千人となり、この人々が10年間にどのような夢を見てきたかという全データの統計が手元にあります。このデータを公開するのは今回が初めてですが、データを取り始めたところ、これは大変なことを見つけたな、と思いました。

それは毎日数万人の人々がアクセスするわけですが、そのデータには共通点があつたりするわけです。例えば、民主党が政権交代した2009年の初夢は、トップ10位にかなり変動がありました。どんな年も初夢はその年全体の状況を象徴しているのですが、この年は例年百番以下であつたものが、10位に入ってきたりして、何か今年は変だぞと思っていましたら、政権交代が起りました。

また地震など地盤が崩れたりする大きな天災の起こる半年くらい前から、面白いことに歯が抜け落ちたり、歯がぐらついたり、歯が欠けたりする夢が、グーッとトツプに躍り出てきます。「鯰」じゃないんですね。地盤のように普段堅固なものが何か思いもよらない形で崩れていくというイメージを、私達の潜在意識は「歯」に見立てているんですね。

どうも私達の潜在意識は「シンボル」で私達にメッセージを送っているような気がしてならないのです。そのシンボルというのは、えてして環境のことを体に例えたりするクセがあります。よく人の心の有り様を体のシンボルで語る言葉が日常語の中にもあります。「鼻っ柱が強い」とか「胸騒ぎがする」とか「腹に入らない、腹が立つ」のようにです。個人のレベルでも夢のパターンを知っていれば、予測ができるのではないかと思います。

ちなみに日本人が夢でよく見るシンボルのトップ20くらいを明かします。1位は「車」です。車というのは、自分で運転して自分で移動できるもので、その人の運命みたいなものを表しているという

解釈もありますし、私は戦後の日本経済がやはり車によって支えられてきたという思いが私達の中に強くあることも関わっていると思います。私達は意外と身近なものを夢で沢山見えています。奇異なものを見る頻度は大変少ないです。その後の順位を申し上げますと、②家、③子供、④トイレ、⑤人、⑥水、⑦服、⑧仕事、⑨学校、⑩犬、⑪海、⑫逃げる、⑬電話、⑭友達、⑮雪、⑯猫、⑰赤ちゃん、⑱虫、⑲お金、⑳階段、㉑雨、となります。

この10年間で犬と猫は年々順位を上げています。やはりペットはすごく私達の身近な存在になってきたということですね。「虫の知らせ」と言いますが、虫が唐突に高いのです。例の「中国毒餃子事件」のときには、その前にバナナや三日月や餃子が上位に出てきました。これらを検討していけば、「予知シンボル学」が確立できるのではないかと思います。皆さんも未来予測も含めて、毎日「夢日記」を付けられることをお勧めします。

第三百五十四回関西日本サイ科学会研究集会報告

「最新脳科学と透視能力について」

講師 赤松 瞳氏

とき 平成23年1月15日(土)
ところ 大阪科学技術センター

赤松氏は1977年生まれ。北海道札幌出身。ロシア科学アカデミー(CHYI)日本代表。脳・認知科学優等学士、応用心理学学士、医療進学士。

長年にわたり、豪州、米国、欧州、インドなどで心理学、潜在意識精神世界の講演、講習をしながら主に豪州大学院に於いて個別指導講師を務めてきた。現在統合医療的なアプローチで様々な心理療法、代替医療を行い、株式会社CI総合研究所にて能力開発トレーニングや障害者教育に従事。

◆ロシアやウクライナの脳科学研究 脳と超感覚的能力

ロシアやウクライナの脳科学研究では、生まれながらにして目の見えない子供たちに、脳の視覚視野や中脳の能力開発トレーニングにより、目以外の感覚を使用して読み書きができるようになっていきます。このように超感覚的な能力を身につけるビデオ紹介や、実際に目を閉じたまま、感覚的にもものを見る・知るなどの実際体験が行われました。



人間は通常脳の5%くらいしか使っていないと言われていました。しかし、これらの未使用の脳を使用することによっていわゆる超感覚的能力が目覚めるといふことがロシアやウクライナの研究では解

明されており、そのための教育方法があります。

私たちの脳は、一秒間に4000億ビットの情報処理しているにもかかわらず、その中でも意識的には20000ビットの情報にしか気がついていません。それは脳を通して私たちの肉眼が物理的次元にチャンネルを合わせているからです。

「物質」は、分子、原子、素粒子などでできていますが、脳はその世界を一部認識しており、研究によると、3歳以下の普通の子どもたちは物が透けて見えるという現象を日常に経験しています。しかし、大人になるにつれて、生活に必要ながないのでそういった情報を脳はカットするようになり、脳は物質的な要素だけをとらえるように成長してしまいます。

一方、ロシアやウクライナの脳科学研究機関では、超感覚的能力(例…透視、念力等)を所有する人たちの脳を調査したところ、未使用脳の活発化、脳の80%以上を使っているということが多数報告されています。同じ脳を持っていないながら、私たちと彼らの何が違うのかといえば、彼らが大部分の脳に

「ニューラルネット（脳神経細胞同士の繋がってできる回路のこと）」ができあがっているのに対し、私たちはごく限られた部分だけにニューロンが使用されているということです。

赤松氏は小さいときから不思議体験をしており、人生の哲学的質問—人は何処からきて、何処へいくのか、どう生きるかとか、見えない世界に関心を持っていました。

豪州の大学院で潜在意識の研究をしていました。大学の研究の上司が豪州警察の犯罪心理学者でもあり催眠療法士であったことから、人の深層心理のカウンセリングに潜在意識や精神世界の理解が非常に重要であることを学びました。その頃に超感覚的能力を持つ大人や子供に触れ合う機会がありました。彼女の研究の一部で、臨死体験者のインタビューを行ったり、警察の捜査に関わる超能力者（例：透視能力で人探し操作を行うなど）と出会ったりしました。その結果、前世療法や瞑想方法を含む様々な心理療法を通して過去のトラウマを回復する方法・技術を身につけることになりました。

今回の話は脳科学に基づく透視能力とされているが実際はもっと広い話題となります。よく言われるように人間の脳は3〜5%ほどしか使っていません。しかし超感覚を持つ人は使用するパーセントが高いことが分かっています。

壁を通り抜けるとか物質化現象を行う人の脳は、分子構造まで見えていることがわかっています。物質を分子構造として見た場合、私たちは化学で学んだように、原子、分子の配列を変えることで全く異なる物質が誕生することを知っています。例えば、水をワインにしたい場合、二つの電子配列を変えるだけです。分子の配列を一寸変えれば空気を液体にしたりもできます。そのような分子構造を変えるためには、通常化学反応をさせたり、熱を加えたりすることで行います。

しかし、世界にはそれを意識的に働きかけることでできる能力者や密教修行僧などがいます。そのような人たちは、脳の未開発の分野を使用して、脳の何十%使っていることがわかっています。特定の訓練方法で、未使用の脳を使えばそのような能力を身につけるこ

とが可能になります。

その能力開発方法で、全世界で最も有効で科学的効果を実証しているメソッドは、ウクライナのクリミア半島で、医師アンドレイ・コーマン博士とヴァチエスラヴ・ブロニコフ博士によって開発されました。ロシアやウクライナの研究では、17歳以下の子供たちにその能力開発方法を享受したところ、全員の子供たちが約3カ月以内に高い透視能力を身につけています。その子供たち全員は、客観性と正確性をもって目隠ししたまま本を読んだり、壁の向こうにあるものを当てたり、遠隔で物や人を認知することに成功しました。完全に生まれつき全盲であった子供たちでさえ、その能力が身につけています。また、時間はかかっても高齢の方もそういった能力が身についたことで知られています。

さらには、障害者に応用して、目が見えたり、耳が聞こえたりするようになっていきます。ある意味、障害のある人はもともと欠如している感覚器官を代替するための脳が発達していることが多いため、超感覚が目覚めやすいこともわかっています。

赤松氏自身もその能力開発方法のトレーナーであるので、研究会最中にエクササイズも行いました。

■ビデオ紹介■

ビデオ1…2010年1月お正月番組TBS「最新脳科学X最強超能力」

元障害者（全盲、聴覚障害、身体機能不全など）であるロシア人男性サーシャ・レビット君が紹介される。能力開発を受けた人の例として、サーシャ君は、アイマスクをして日本の取材班がもつてきた絵本の内容を説明する。サーシャ君は9歳で能力開発学校へ通う。サーシャ君によると、見えない世界を見ようとするとときに、まず意識を一点に集中させることで対象物の輪郭や色がぼんやり見え始め、そこにさらにフォーカスをする。詳細も次第に見えてくる、という。

ビデオ2…ロシア モスクワの能力開発学校の授業風景

学校のトレーニングでは、代替視力を育てるために、アイマスクを使って視覚をブロックしている。まずは、脳内視力を育て、脳の後頭部（視覚視野）で見るトレーニング

グを行う。脳内視力が育った後には、外部視力が発達する。ロシアでは化学的にエクスターナル・ビジョン (external vision) という (ロシアでいうエクスターナル・ビジョンは、米国でいうリモート・ビューイング [remote viewing] より広範囲の定義で使用されている)。授業では身体周りのエネルギーを感じず練習をしている。それは、バイオエネルギーフィールド (生体磁場) と呼ばれている。気功のようなエクササイズをしている。脳内視力を鍛えるために、瞬間記憶 (カメラ記憶) (photographic memory) と叫ぶトレーニングをしている様子やグリッドと呼ばれる方法を学習している。これらのトレーニングをすると脳内の情報処理がはやくなる。この訓練を行うことで未使用の脳が開発され、超感覚的能力が高まるという。デモンストラーションを行っている女生徒は、一目解剖学の本を見ただけで、その本のページをいとも簡単に読み上げている。夢を見る時や、考える時の脳の解析により、脳科学や医学の根拠に基づいた方法でトレーニングを進めている。

ビデオ3…ドイツのテレビニュースの紹介

ほとんどの受講者が能力開発に成功している。感覚の範囲が拡がり自分の周囲を360の範囲で認識するようになる。言語能力も向上する。このトレーニングを受けた生徒は大学の成績も良くなる。脳のどのチャネルを使っているかの研究を行っている。開発には霊的なメッセージも受けており、チベット密教の聖者の協力もある。人類のバックアップがあつて開発されている。

大人でも習得可能である。17歳以下なら100%向上する。80代でも本人の継続の努力があれば可能である。

今は初歩的研究である。いずれ材料工学とタイアップして材料の開発とか人体内部の研究など応用範囲は広い。

目隠しして合気道を行うこともある。本物の剣での試合も行っている。

■赤松氏による透視実験…参加者から提供された物品16点を透視した■

出題品は、ストラップのついた

小さい瓢箪、飲み物が入っている容器、黄色の表紙に文字のある本、不規則な折り目のついたパンフレットなどであり、赤松氏はそこに書かれた文字をほぼ完全に透視できた (赤松氏は数年の訓練でこの能力を身につけたという)。

ビデオ4…ウクライナの障害者教育センター (AHDセンター)

元米大統領クリントンとヒラリー夫人がウクライナ障害者教育センターを訪問した際のビデオ。ウクライナ国内の代替医療の状況を説明している。

センターにおいては、脳性麻痺の方々の回復実例、眼球のない方が代替視力 (EXV) を得て本を読むことができるようになった実例などが紹介された。

アメリカの超能力の研究は、軍事目的が主であるが、ロシアやウクライナは社会福祉とか障害者補助とか、医学への応用が大事である。米大統領が、創始者の先生らに米国での市民権の移動も含め開発提案があったが、ウクライナ側は断っている。米国の軍事仕様であったリモートビューイング (スターゲートプログラム) ももともと

はロシアの超能力プログラムを基礎にしてスタートしたものである。

ウクライナ障害者教育センターにおいては、もともと人が持っている自然回復能力を向上させるために、気の流れをよくするエクササイズを紹介している。回復実例が紹介された。…:脳性麻痺で手足の不自由な子供たちが元気に歩いたり走ったりしている様子、糖尿病の大人や子供の回復、全盲の子供たちが見えるようになり周囲の人物の着衣を当てる、耳の聞こえない子供たちが聞こえるようになる、など。

気の流れを整え、能力開発を施し、心身の回復がなされるだけではなく、結果的に大人も子供も超能力を習得した様子がかがえた。

■体験会…赤松氏によるエネルギーワークの紹介■

参加者全員により気を感じる実験が行われた。

まず両手をこすり合わせる。これだけで右脳と左脳の繋がりが良くなり、脳の活性化となる。エネルギーボールの作成、エネルギーボールを相手に渡す、気で相手の身体にふれる実験、などが行われ、

大半の参加者は気を感じることができた。

■能力開発方法―脳科学に基づく超感覚の発達段階■

脳の発達段階…

肉眼↓イメージ(想像の世界)↓心眼。

脳内視力(インターナルビジョン)↓外部視力(エクスターナルビジョン)

■訓練方法■

第一ステージ

バイオエネルギー交換の発達

感覚範囲の拡大

右脳と左脳の神経系の活発化

血液循環がよくなり免疫・抵抗力が強くなる

第二ステージ

イメージ育成

瞬間記憶能力

周辺視野の開発

内部データベース開発

時系列情報を記憶する

認識力の強化

脳内視力ニューラルネットがで

きる

第三ステージ

目を使わないうで自分の配置が分

かる

闇の中で物を見回す

身体機能回復

体外離脱

ホモサピエンスとして普遍意識

宇宙からの直接の知識が得られる

第四ステージ

バイオコンピュータ・インター

ネット

複数の人のバイオコンピュータ

をつなげたコミュニケーション

■訓練方法習得後■

この訓練方法を行うと、カメラ

記憶、同時に多数のことを行う能

力、超感覚的能力(透視、リモー

トビューイングなど)、次第に超意

識から瞬時に答えを聞き出す、こ

となどができるようになる。日本

に10年前に招待したこの訓練方法

のインストラクターやその子供は、

壁を透視して見たり、遠くにある

本を開かずに読む、失くした新幹

線の子ケットの場所を当てる、学

校に行かず勉強せずとも試験の解

答がわかる、CDやDVDをプレ

ーヤーなしで脳内で再生して聞く

見る、など通常教育ではありえな

い能力を身につけていることがわ

かった。

それだけではなく、ロシア脳科

学アカデミーや大学医療研究機関

の調査によると、能力の発達した

人たちが、体内を透視することで、

医学的病理学的にも見つけにくい

早期のガン細胞を発見したり、遺

伝子、微生物、細胞等の電子顕微

鏡の下でしか見るのでできない

体内状況を正確に当てているとい

う。

■メデイカルダイアグノスティックエキスパート■

体内霊視診断士。直接視力によ

る霊的医療診断を行うエキスパー

トのこと。

ビデオ5・医学博士、脳科学者に

よるレポート

アイマスクをしてビリヤードを

する様子など。眼球のない娘さん

が脳内視力と外部視力の発達で、

見えるようになるケースなど。体

内透視で、欠陥のある遺伝子を修

正してよくなるケースなど。

素晴らしい講演であった。訓練

により成果があがるのを脳の活動

で確かめている。

超能力の開発が組織だった方法

で行われる時代になってきたこと

を実感させられた。

たまたま本年1月27日の産経新

聞に同志社大で脳科学研究所新設

の記事があった。全国でも珍しい

とのこと、このような新しい分

野に早々に取り組まれた先見性に

敬意を表する次第である。

当日の参加者は会員12名、非会

員25名計37名であった。

今回のカセットテープは2000

円です。ご注文は関西日本サイ科

学会事務局木村(電話0797・

22・6425)まで。

今後の予定

5月21日(土) 瀬尾泰範氏「東日本

大震災と今後の世界について占星

学的解釈と予測」

6月18日(土) サアラ氏「科学と靈

性の融合する時代」

(関西日本サイ科学会会長

河野 明夫)

故 関英男先生のサイ関係(+ α)の主要な御著書(在庫のあるもの)

	定価	送料
加速教育法(1990:加速学園出版部)	2100円	(310円)
加速学習法(1995:加速学園出版部)	2550円	(210円)
サイ科学の全貌(1991:工作舎)	1995円	(210円)
グラビトニックス(2000:加速学園出版部)	1000円	(160円)
念波(1990:加速学園出版部)	800円	(160円)
CD:生命と宇宙[講演録72分](1998:船井メディア)	3000円	(160円)
電気磁気学[加速教育用](1983:加速学園出版部)	1340円	(160円)
謎のオズマ計画 - UFOとの関連 - (1976:USL)	190円	(120円)
FIVE DIMENSIONAL WORLD(1974:英語版)	1000円	(160円)

以下オスカー・マゴッチ著、関英男先生監修

深宇宙探訪記(上)(1991:加速学園出版部)	2500円	(210円)
深宇宙探訪記(中)(1992:加速学園出版部)	1800円	(210円)
深宇宙探訪記(下)(1992:加速学園出版部)	2200円	(210円)
VHSビデオ:オスカー・マゴッチ氏の講演(2h40m)	3000円	(300円)
VHSビデオ:ティモシー・ワイリー氏の講演(2h45m)	3000円	(300円)

※ビデオは日本語逐次通訳付きです。

御注文はそれぞれ定価+送料の合計料金を郵便局にある郵便振替用紙で以下の口座にお振り込み願います。

口座番号 00100-2-15344 加入者名 日本サイ科学会

★郵便振替用紙の「通信欄」に書籍名を必ずご記入願います。

★郵便番号、住所、氏名、電話番号は楷書で読みやすくご記入願います。

(特に番地は算用数字でしっかり書いてください。)

※お振り込みから4週間以内に発送致します。

※1種類で沢山の部数を御注文の場合は、事前に在庫を下記の電話またはFAX、E-mailで確認して頂いてから、お願い致します。

※以上の書籍は今後増刷がありませんので、在庫が無くなりましたら、ご容赦願います。

<お問い合わせ>

日本サイ科学会事務局 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506

TEL 047-347-3546 FAX 047-330-4091

E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

た。これは地球の固有振動数としてのシューマンレゾナンスとほぼ一致している。

光子群の動的な変化を調べる為に、遮光状態のTVカメラのビジコン管(M7075)とメモリー・スコープ(XYレコーダー付き)を用いて実験を行って光子群(念球)の2次元的な様々な動きを記録した。さらに上記の暗缶を用いて実験を行い、記録された時系列変化の最頻値は約100Hzであること、並びに複雑性科学のカオス解析結果から非線形低次元決定論的なレスラー系のカオス・アトラクタ(D2=1.9~2.2)が得られた。フラクタル次元のD2は関与する変数の数を意味しているので、サイ(気)は、生体周りの別の2~3箇所から(チャクラと推定)送念されていると、判断した。他方、メタルPKの進行過程の事象結果として、硬度測定は通常の場合よりもより硬くなる、次により軟らかくなる、是を繰り返す。またひずみ変形を見ると、経過時間(ひずみ硬化)には依存しないで、より変形しやすい、次はより変形しにくい。破断面をみると、延性的つぎは脆性的、等の同一内容と思われる変化を繰り返している。この時のカオス解析結果を見ると、レスラー系のカオス・アトラクタを繰り返し描いている。

なお、上記の実験結果には、写真のポジ(正)像に対するネガ(負)像。並びに時系列変化の正方向変化と負方向変化等の変化を伴っている。これは素粒子を表示するシュレディンガー方程式が虚数を含む事に関係すると考えられる。以上の実験結果から得た様々な念力(マクロPK)の諸性質は、サイ(気)が素粒子群であり、量子絡みあい(QE)を介して伝達されると考える事により、ほぼ矛盾無く説明出来る事が判った。

4. カオス・アトラクタと念力

物質変化の変曲点付近は不安定な状態であり、そこに未知現象が生起している。また、流体の場合の層流から乱流・カオスへの進展過程等と比較すると、物質変化の変曲点でカオス・

アトラクタの分岐が生じていると、判断することが出来よう。

カオスは混沌とも言い、偶然に支配されている。運動は非線形で、複雑で不規則であり、非可逆性を持つ非周期運動なので、結果を予測する事は出来ない。これは念力も同様である。さらにカオスの基本的な構造として、不安定状態に達すると、分岐が開始される事になる、つまり、念力の発生は分岐の開始と一致しており、念力の進行はカオスの進行過程として表示出来ると考えられる。そこで、つぎに、実験・解析が容易なカオス解析から、発生と実験が難しい未知現象(念力)を推定すること、ならびに、両者の比較検討を試みる。

(a) 念力の動的な性質：(a-1) 意識的ならびに物理的(場所的)な条件設定が必要。(a-2) 情報伝達の媒介物、情報処理の手法は不明(推定の段階)。念力は(a-3) 人体から素粒子群(サイ、気)として発生し、球状(らせん)運動を繰り返す、波動的に伝達される。(a-4) 空間的には無限大ならびに無限小迄。(a-5) 時間的には過去、現在、未来まで。つまりサイ(気)情報は瞬間的、距離に無関係に伝達される。

(b) 念力の機能的な性質：(b-1) 人体からサイ(気)を放出。(b-2) 気と物質の相互作用により念力が発生する。(b-3) 意識も物質も共にサイ(気)の属性がある。(b-4) 複雑系非線形の陰陽五行方程式(相生、相克)に従う。(b-5) 太極、八卦、易経の分類に従う

(c) 念力場の形成：念力は意識の働く状態により5種類の場を形成する。(c-1) 平衡・焦点：焦点状の平衡状態であり、昏睡、廃神の意識状態。(c-2) 周期軌道：無意識状態。(c-3) 準周期軌道：無意識状態。(c-4) 低次元カオス・アトラクタ：変性意識状態または特異機能態。(c-5) 高次元カオス・アトラクタ又は意識：ランダムで雑念が多い、通常の意識状態。念力としての未知現象(サイ現象)は(c-4)で生起している。

異常変形(未知現象)の発生点(カオス現象の最初の分岐点)を求める。従来は念力の有無が議論の対象であったので、発生の為の条件は議論された事が無かったように思える。

この種類の実験や検討を繰り返した結果として、次記が得られた。(1)物質の変曲点(不安定点)で未知現象が発生(分岐開始)した。メタルの場合には、降伏点が是に相当している。この実験は、(2)変形という現象を介して、(物理現象)+(サイ現象)、を求めたことになる。(3)(物理現象)+(サイ現象)の時に、つまり外気(サイ)が加入すると、試験片は、通常変形とは異なる現象、つまり「急激塑性伸び」、再載荷重の時に「見かけ上の弾性喪失」(変形がゼロとなる)、除荷重時に急激戻り、が認められた。これは(4)未知現象生起の時に材質が一部僅かに変化させられた(分岐した)事を意味している。(5)これと同じ実験を、材料をアルミ、鉄、竹、木。形状を、丸棒、四角、矩形に、試験機を片持式、単純梁式に、変えてテストして、ほぼ同一の結果を得た。これらから物質変化の変曲点付近(不安定状態)でパルス的な意念の働き(うん、命令)があった場合に、未知現象(サイ現象)の発生・生起が生ずる事が判った。

未知現象生起(局所)の機構を検討する。実験によると、押し合う力の相殺する零点付近(零場)にサイ(気)が集積される事がわかった。数字や幾何学のゼロは単なる空位で現象を伴わないが、物質の場合の零(相殺零)には未知現象生起のパワー源がある。零場には質的な面と量的な面がある。質的というのは、相殺する力の大きさに応じて個体、分子、原子、素粒子というように零場で介在・接触している物質の内容が変化することを意味する。量的というのは、相殺零にはパワーの相違がある事を意味する。例えば物質相殺の $(+10) + (-10) = 0$ よりも物質相殺の $(+1000) + (-1000) = 0$ の方が、零のパワーは大である。つまりパワーの大きな零になるほど、サイ(気)現象が発生しやすくなる事が判明した。

さらに、未知現象生起には零意識が必要になる。瞑想や呼吸をコントロールするなどの方法を用いて意識を変性させる(変性意識状態、ASC)。意識は知性や理性等の常識と言われるものであるが、これを次第に薄めて、無意識に近づける。未知現象が生起する時の変性意識状態を零意識と仮称する。この零意識は意識と無意識の間の抗暗示障壁に存在していると考えている。意識を零意識状態にし、物質の零(相殺)を高めると、両者に共通に存在する零を介して、物と意識の両者が交流し合い、未知現象が生起する事になると判断している。なお相殺零場はマクロとミクロ、右旋回と左旋回、精神と物質等、の変換点の性質を持っている事が判明している。

さらに、この試験内容を透視・念写の場合に適用した。例えば「催眠中、意識を集中させて透視する事により、物理的な光による感光と同じような現象が、遮光状態の写真用乾板に起った」。つまり福来友吉によって1910年に念写が発見された。現象の内容から見て、これはマクロPKの一種であると判断できる。そこで、筆者らは、遮光状態の暗缶内に発光ダイオードと受光ダイオードを置いて透視・念写の実験を試みた。メタルの場合と同様に、暗缶内にバイアス光として既知の物理光を階段状に与えたところ、僅かなパルス状の送念(意念)でも、光としての未知現象が出現する事を確かめた。物理光が受光ダイオードの閾値近くか或値に達した時に、暗缶内にパルスの球状の光子群(素粒子群、念球)が発生した。これはメタルの場合の発生条件と同一なので、同一内容の未知現象(サイ現象)が生起したと見る事が出来よう。

3. 念力現象の成長

実験を続けたところ、バイアス光の無い場合でも念球(光子群)の出現は可能であったが、バイアス光のある場合の方が、よりパルス状になる傾向があった。多くの実験を重ねたところ、パルスの出現の最頻値として約6.7Hzが得られ



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行

電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

公式サイト <http://homepage3.nifty.com/PSIJ/> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

念力とカオス・アトラクタ

佐々木 茂美 苗 鉄軍

1. はしがき

意識と物質が直接相互作用する現象を念力(PK)という。念力の現象のあることは周知であるが、原因は不明であった。この理由として、念力は変性意識状態(ASC)に関係するが、意識が科学的には不明なので、念力も不明であると考えられていた。筆者らは、永年にわたり念力を解明する為の努力を続けてきたが、最近、ようやくその一部が分かりかけてきた。得られた結論の一部として、(1)念力の発生条件がほぼ判明し、零場が発見された。(2)複雑系科学のカオス・アトラクタ形成・展開の過程と念力の進展とは密接な関係がある。従って、(3)実験が難しい念力現象を、カオス・アトラクタの変化から推定する事が可能である、と判断した。今回は、不完全ではあるが、実験をもとにして念力とカオス・アトラクタの関係を略述する。

2. 念力の発生条件

日本では、1974～1980年代に念力(PK)や超感覚的知覚(ESP)としての超能力有無の真贋騒動があり、世論を二分して社会問題にもなった。しかし、再現性や、因果律を説明する事が困難な為、結局は否定されてしまった。中国でも1979年に四川省で「耳で字を読む唐雨少年」が発見され、多くの市民の支持を受けて、

特異機能(超能力)は最大に流行したが、法輪功事件を契機にして政府から否定されてしまい、今は、忘れられかけている。最近になり、日本では(2009～現在)パワー・スポットブームがやってきた。全国各所の神社、社寺のパワー・スポット(聖地)には多くの人々が集まっている。これは社会現象であり、心身のパワー(力)の強化を求める人達が想像以上に多い事を意味している。筆者らは、パワー強化や「願い事を叶える」為には、念力の一種を用いる方法が良いと考えている。

はじめにマクロ念力(PK)としてのメタル・ベンディング(未知現象)の生起条件を扱う。メタルは電磁気や雑音等にも安定であり、化学的・物理学的にも安定しており、さらに変形に関する様々な性質も判っている。単純で誤差が入りにくいアルミニウム材を用いて引張試験を実施した。試験方法として、(a)試験片に僅かに載荷重(分銅)する。同時に被験者(超能力者)が外気(サイ)をパルス的に(うん、と腹気合い)意念して、試験片に与える。その時の変形(伸び)=(物理現象)+(サイ現象)、を求める。次に、(b)として(a)と同様に荷重、意念し、測定を行う。是を小刻みに繰り返す(数回程度)。そして、サイ(外気)現象が(既知の)どのエネルギー段階で加入してくるかを調べる。この様にして、